

第 157 回微小光学研究会 「ロボットと微小光学」

近年，民生から医療，産業応用までロボットが次第に普及して身近になってきた。ペットロボットに癒され，受付ロボットに案内され，手術ロボットに治療され，製造ロボットで作られた車に乗り，最近では生身の人間の表情をするロボットに驚かされている。実はこれらのロボットには知らぬ間に光技術が侵入している。今回はその一部を紹介し，今後のロボット社会を議論したい。祇園では，数年後に舞妓ロボットが歓迎してくれるだろう。“またおこしやす京都へ”

※当初京都工芸繊維大学で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のためオンライン開催となりました。

日時：2020年11月27日(金) 10:20-16:40

会場：Zoomを用いた仮想会議場(接続方法はお申込み後個別に連絡)

プログラム

10:20-10:30	開会の挨拶	
10:30-11:00	ロボットフォトニクス ーロボットフォトニクス技術の概要と今後の展望ー	村井 健介(産総研関西)
11:00-11:30	ロボット用測域センサー(LiDAR)の開発	井上 恵介(北陽電機)
11:30-12:00	セーフティーレーザーキャナーによる安全性と生産性を両立させた次世代FA現場の実現	清水 隆義(IDEC)
12:00-13:00	<昼食休憩>	
13:00-13:40	【特別講演】生物材料の特性に基づくセンシングシステムとロボット技術 ー精密農業からスマート農業への進化ー	近藤 直(京大)
13:40-14:10	産業用ロボットにおける3次元ビジョンセンシング	奥田 晴久(三菱電機)
14:10-14:40	視覚障がい者への道案内と安全確認におけるセンサー活用事例	今津 篤志(大阪市大)
14:40-15:00	<休憩>	
15:00-15:30	複数 LiDAR による協調移動物体追跡	橋本 雅文(同志社大)
15:30-16:00	ホログラフィーによる超高速イメージング	粟辻 安浩(京都工繊大)
16:00-16:30	ドローンからのレーザーセンシングによる防災・減災，強靱化	富井 隆春(アミューズワンセルフ)
16:30-16:40	閉会の挨拶	

参加費(消費税込. 予稿集代を含む.): 一般 5,000 円, 応用物理学会員 4,000 円

学生・シニア 2,000 円, 学生・シニア応用物理学会員 1,000 円

参加申込: 事前申込必要. 微小光学研究会ウェブサイト(<http://www.comemoc.com/>)よりお申込み下さい.

※開催数日前に Zoom 接続情報, 予稿集と請求書を発送致しますので, 参加費(予稿集代を含む)をお支払いください.

担当委員: 山本(大阪大), 藤(大阪大), 片山(福岡工大), 木村(東芝), 桑田(三菱電機), 裏(京都工繊大)

問合せ先: 三菱電機(株) 桑田(Kuwata.Muneharu ■cs.MitsubishiElectric.co.jp)(■を@に変えてください.)

微小光学研究会 代表:伊賀 健一

運営委員長:中島 啓幾

実行委員長: 横森 清

副代表:後藤 顕也

運営副委員長:波多腰 玄一

実行副委員長: 宮本 智之

※プログラムは微小光学研究会のウェブサイト <http://www.comemoc.com/> でもご覧いただけます。